

# 韓国民族芸術団「クンドゥル」



## マダン劇「烏鵲橋 (オジヤッキョ) アリラン」

「烏鵲橋(オジヤッキョ)」とは、会うことのできない恋人たちをつなぐカラスとカササギが作る愛の橋のこと。「牽牛と織女」という韓国の民話をモチーフにしたお話。日本では「彦星と織姫」という名で知られています。

抱腹絶倒

結婚をめぐる大騒動



2025年3月12日(水)宇部市多世代ふれあいセンター

昼の部:ゲネプロ公演 14:00開演(13:30開場)

入場料:【全席指定】一般 3,500 円/高校生以下 1,500 円 (当日いずれも 500 円高)

夜の部:本公演 18:30開演(18:00開場)

入場料:【全席指定】一般 4,000 円/高校生以下 1,500 円 (当日いずれも 500 円高)

\*昼・夜2回公演鑑賞券【全席指定】一般 5,500 円/高校生以下 2,000 円 (当日いずれも 500 円高)

★会員になると年6回のコンサートに会費のみで参加できます

(会員の月会費は一般 1,500 円、高校生以下 500 円)

★チケット取扱 宇部音鑑 (宇部市神原町1-2-3 ☎0836-34-2384)

宇部市文化創造財団(宇部市松島町17番3号 ハイウッドビル3F ☎0836-35-3355)

★チケット発売:会員…12/21(土)より、一般…2025年1/11(土)より

★主催:宇部音鑑 ★後援:宇部市・宇部市文化創造財団・宇部日報社・エフエムきらら

## 韓国民族芸術団「クンドゥル」について

1984年、晋州慶尚大学の伝統民俗研究会の会員が集まって、日本の植民地支配で消えてしまった韓国の民族伝統文化芸術をよみがえらせようと結成しました。思いやりと感動、人情を基盤にした団員の親睦と団結を源泉にして文化芸術活動を行っています。「演技者や歌手である前に人間であれ！」がモットーです。

歴史、統一、環境、労働などさまざまなテーマで、広い世代の方々に観てもらえるマダン劇を創作し、年間約120回のマダン劇公演を行っています。脚本、演出、衣装、道具、音楽など全て自分たちで創り上げています。

また、学校や、労働者、地域住民の人々にサムルノリ、プムルノリを指導援助しています。晋州(チンジュ)市と昌原(チャンウォン)市で毎年行う、定期公演での市民130人が参加するプムルノリ演奏は大きな感動を呼んでいます。村や地域の祭りにも積極的に参加し、そこに新しいサークルを根付かせる活動も行っています。



### 韓国民族芸術団「クンドゥル」の名前の由来とこめられた思い

初めて事務所を開設した場所が、韓国慶尚南道普州市上平洞(サンピョンドン)で、市民はその場所を「クンドゥル」と呼んでいました。「クンドゥル」とは『広くて大きな野原』という意味です。今では工業団地や住宅が立ち並んでいます。昔は白菜や大根がたくさんとれる肥えた土地でした。お百姓さんが、たくさん作物を作って人々にお腹一杯食べさせるように、民族文化芸術活動を通して世の中が平和で、平等で、生きがいの持てる美しい社会になることを願って『クンドゥル』という名前をつけました。

### マダン劇は・・・

「タルチュム」という古典仮面劇が現代に発展した形として生まれたのが『マダン劇』です。舞台は観客に囲まれており、その舞台のことをマダン(広場という意味)と呼びます。『マダン劇』は主に野外で行われ、俳優が客席に入り込み、即興的なせりふ、にぎやかな歌と踊り、おどけたしぐさと表情、その風刺と楽しさが観客を沸き立たせます。

1970年代以降、軍事独裁に対する痛烈な批判・風刺の作品を生み出し、韓国の民主化への大きな役割を果たしてきました。

### マダン劇「烏鵲橋(おじゃっきょ)アリラン」について

70年もの間、敵のように過ごしてきた「川上の村」と「川下の村」にあってはならぬ事件が起きました。「川上の村」の娘コップンと「川下の村」の青年ナムドルが恋に落ちたのです。一年に一度めぐりあう織姫と牽牛より、もっと困難で悲しい恋に落ちたコップンとナムドル。

二人は両親の許可なく婚礼をあげることを決心し、両方の家の中は大騒ぎになりますが・・・“この結婚には反対だ〜”と言いながら登場する両家の両親。プライドがかかった両家の両親たちの知能戦、あげくの果てに両方の村の中の知能・芸能戦にまで発展しますが・・・。「川上の村」のコップンと「川下の村」のナムドルとは両親の反対に打ち勝ち、結婚にゴールインすることができるのでしょうか。



マダンは広場の他に庭という意味もあります。マダン劇は“舞台”という限られた空間で俳優と観客がある種の隔てられた状況下での演劇ではなく、家の庭のような生活の延長線上にあるかのような空間に俳優と観客が共に存在し、観客が演劇に参加する＝観客が主人公の演劇であると言えます。日本公演では60%以上が日本語で演じられます。